

科目名		ネットワークⅡA										
科目名(英)												
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	打越 直美					
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	IT企業のエンジニアとして勤務					
対象学科・学年		情報システム科ネットワーク専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年										
授業概要		ネットワーク基礎、ルータの基本操作、ルーティング、管理アクセスに対するセキュリティ設定に必要な技術を学習し、小規模ネットワークの構築と運用ができるようになる										
		iCDタスクコード		DV04.9.1								
授業形態		講義：○		演習：△		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△		
学習目標 (到達目標)		言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標					
		○	○				ネットワークの基本用語、仕組みを説明できる					
		○	○				小規模ネットワークの設定、動作確認ができる					
		○	○				小規模ネットワークの運用、トラブルシューティングができる					
テキスト・教材 参考図書		シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集[対応試験]200-301(翔泳社)										
授業計画		回数	授業項目・内容						授業外学修指示			
		1-2	ネットワークの基本とTCP/IPの概要						TCP/IPとOSI参照モデルの復習を行うこと			
		3-4	物理層									
		5-6	イーサネットLANの基礎									
		7-8	記数法						整数の2進数、16進数について復習すること			
		9-12	IPv4アドレッシングの基礎									
		13-14	アドレス解決プロトコル									
		15-16	ICMP									
		17-18	TCPとUDP						TCP/IPとOSI参照モデルの復習を行うこと			
		19-20	アプリケーション層									
		21-22	Ciscoルータへのアクセス方法									
		23-24	Ciscoルータの操作の基本									
		25-27	Ciscoルータの基本設定						ルータの初期設定を復習すること			
		28-31	ルータの基本設定と確認									
		32-33	Catalystスイッチの構造と基本設定						スイッチの初期設定を復習すること			
		34-35	ルーティングの基本									
		36-37	スタティックルーティング									
		38-39	ダイナミックルーティング						ルーティングの違いを復習すること			
		40-41	OSPFの設定と確認									
		42-43	セキュリティの基礎知識						セキュリティの基本的な考え方を復習すること			
		44-45	ネットワークデバイスの保護									
評価方法		(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを5回実施する。(3)実習内容を課題レポートとして提出させる。(4)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合				
		定期試験	○	◎				40%				
		確認テスト		◎				20%				

科目名	コンピューターオペレーション演習Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	6単位		時間数	90時間		担当者	北原 聡・高倉 美哉
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	情報システム科ネットワーク専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年						
授業概要	サーバー構築・運用に必要なLinuxコマンドを講義と演習を通して学習する。また、AWSを使用することでクラウドの考え方やAWSサービスの概要を知る。						
	iCDタスクコード		DV04.4.1、DV04.7.1				
授業形態	講義：△		演習：○		実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				AWSを利用したインスタンスの作成、アクセスができる	
	○	○	○			Linuxの概念を理解し、基本コマンドが操作できる	
	○	○				Pythonを使った簡単なプログラミングができる	
テキスト・教材 参考図書	AWSではじめるLinux入門ガイド(マイナビ出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示
	1-2	AWS環境準備(画面構成)、インスタンス管理(起動、停止、SSH接続)					自PCにターミナルソフトをインストールし自宅環境からAWSインスタンスにアクセスできることを確認
	3	ターミナル基本操作					
	4-6	ユーザーとグループ管理(追加、削除、変更、管理ファイル)					
	5-7	セキュリティの基本(ユーザ管理、パスワード)					
	8-9	ディレクトリとファイルの操作(作成、コピー、移動、削除)					指示に従ってユーザ作成、削除、パスワード設定ができること
	10-17	ファイル操作(検索・圧縮・アーカイブ/標準入出力、リダイレクト、パイプ)					
	18-20	変数、エイリアス / 特別なディレクトリとファイル					
	21-27	エディタ操作(vim)/ ファイル操作(内容表示、並び替え、分割)					指示に従ってファイル操作ができること
	28-30	パーミッション管理					vimの基本操作(コマンドモード)ができること
	31-32	仮想マシン作成、SSH接続					パーミッションの概念をもとに設定ができること
	33	REPL(レプル)、エディタによるプログラミング					
	34	ファイル操作、ディレクトリ操作の復習					
	35	変数					
	36	演算					
	37	リスト					
	38-40	制御構造					
	41-42	メソッド					
	43-45	関数					
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する (2)授業の中で確認テストを3回実施する (3)実習内容を課題レポートとして提出させる (4)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				30%
	確認テスト		◎				20%
	課題		◎	○			30%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	データベース演習									
科目名(英)										
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		高倉 美哉	
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科ネットワーク専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年									
授業概要	SQL言語の実行環境を使用し、基本的なSQL操作方法を習得する。 講義と演習を交えて学び、知識を演習を通じてデータベースを定義し、登録したデータに対して条件検索・整列・グループ操作・表結合・副問合せなど、目的に応じた操作技術を習得する。									
	iCDタスクコード		DV04.3.1							
授業形態	講義：△		演習：○		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標				
	○					データベースとは何か、どのように使用されているか説明できる				
		○				データベースおよびテーブルの定義、更新、削除方法を習得し、操作できる				
		○				テーブルへのデータ登録、参照方法を習得し、操作できる				
		○				テーブルのデータの更新、削除方法を習得し、操作できる				
テキスト・教材 参考図書	SQL 第2版 ゼロからはじめるデータベース操作(翔泳社)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1-2	第0章 インTRODクシヨン(SQL学習環境準備)					SQL言語環境のインストールを完了し、ログインできるようにしておく			
	3-4	第1章 データベースとSQL(データベースとは、SQLの基本)					章末の練習問題を実施する			
	5-6	第2章 検索の基本(SELECT文、算術演算子)					章末の練習問題を実施する			
	7-9	第3章 集約と並べ替え(集約、グループ)					章末の練習問題を実施する			
	10-12	第4章 データの更新(UPDATE文)					章末の練習問題を実施する			
	13-17	第5章 複雑な問い合わせ(ビュー、サブクエリ)					章末の練習問題を実施する			
	18-22	第6章 関数、述語、CASE式					章末の練習問題を実施する			
	23-27	第7章 集合演算(足し算、引き算、連結)					章末の練習問題を実施する			
	28-30	まとめ、総合演習					期末試験に向け復習する			
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)確認レポートを数回実施する。(3) 受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。									
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合			
	定期試験	◎	◎				50%			
	確認レポート	◎	◎		○		30%			
	受講状況				◎		20%			
履修上の注意										

科目名	ネットワーク構築演習 I A											
科目名(英)												
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		久保山 大地・北島 仁宇			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験		ITエンジニアとして開発業務に従事			
対象学科・学年	情報システム科ネットワーク専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年											
授業概要	イーサネット技術を理解し、ルータやスイッチを組み合わせてネットワークを構築するために必要な設定、動作確認、トラブルシューティングができるようになる											
	iCDタスクコード		DV04.4.1									
授業形態	講義:		演習: ○		実習:		実技:		※ 主たる形態:○ その他:△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標						
	○	○				ルーティングの基本機能、仕組みが説明できる						
	○	○	○			ルーティングに関する設定、動作確認ができる						
	○	○	○			ルーティングに関するトラブルシューティングができる						
テキスト・教材 参考図書	シスコ技術者認定教科書 CCNA 完全合格テキスト&問題集[対応試験]200-301(翔泳社)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1-2	ネットワーク基本構成(PC2台直接接続、接続確認)										
	3-4	ネットワーク基本構成(PC3台以上、接続確認)										
	5-7	ルータの基本設定(コンソール接続、ホスト名、IPアドレス)					ルータの基本設定を復習する					
	8-11	ルータの基本設定(パスワード、telnet)										
	12-14	LANケーブル作成										
	15-16	スイッチの基本設定					スイッチの基本設定を復習する					
	17-19	ルータとスイッチを使用したネットワーク構成										
	20-22	スタティックルーティング										
	23-25	ダイナミックルーティング										
	26-28	フローティングスタティックルート					スタティックルーティングとダイナミックルーティングの基本設定を復習する					
	29-30	小規模ネットワーク構築										
	評価方法	(1)実習内容を課題レポートとして提出する。(2)授業の中で授業内評価テストを2回実施する。 (3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。										
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
演習課題レポート		○		◎		○						40%
授業内評価テスト		○		◎								40%
受講状況								◎				20%
履修上の注意	再試験は実施しない											

科目名	GCB II									
科目名(英)										
単位数	1単位		時間数		16時間		担当者		打越 直美、北島 仁宇	
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験			
対象学科・学年	情報システム科ネットワーク専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年									
授業概要	「志の教育」を通して、以下の3つの力を持つグローバルシティズンを目指す ①歴史の理解とグローバル化を見据えた広い視野・知識と深い洞察力 ②未来からの反射を踏まえた自分像に向けて自己を革新する成長力 ③与えられた環境で可能性を見出し、貢献する行動力									
	iCDタスクコード		該当なし							
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標				
		○				考えることの大切さを理解することができる。				
		○				自分の言葉で伝える大切さを理解することができる。				
		○				目標の大切さ、志の大切さを理解することができる。				
		○				行動する大切さを理解することができる。				
テキスト・教材 参考図書	グローバルシティズンベーシックⅡ(麻生塾)									
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示			
	1	グローバルシティズンと志					振り返りレポート			
	2	なぜ志を立てることが大切なのか					振り返りレポート			
	3	自己を知る					振り返りレポート			
	4	伝える力を学ぶ(1)					振り返りレポート			
	5	伝える力を学ぶ(2)					振り返りレポート			
	6	与えられた一度の人生に感謝し、志高く生きる					振り返りレポート			
	7	自己の大切さと責任を自覚する					振り返りレポート			
	8	GCBⅡを受講して、私が感じたこと・気づいたこと・学んだこと					振り返りレポート			
	9									
	10									
	11									
	12									
	13									
	14									
	15									
評価方法	(1)毎回の授業でレポートを指示する。(2)授業で取り組むグループワークや発表内容を評価する。 (3)受講状況を評価する 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。									
			言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合		
	レポート			◎		○		80%		
	受講状況					◎		20%		
履修上の注意	再試験は実施しない。レポートについては、期限を守らない場合や基準を満たさない場合は、減点・補習・追加課題を行う場合がある。									

科目名	ゼミナールⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	打越 直美、北島 仁宇
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	情報システム科ネットワーク専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年						
授業概要	学校生活を送る上での基盤となる力や社会で働く力を育む。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義：○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
				○		人間関係を自主的、実践的により良いものへと形成できる	
	○			○		社会的・職業的自立の意義を理解し説明できる	
	○			○		社会生活を営む上で必要なマナーやルールを理解し説明できる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	クラス内オリエンテーション 年間チーム確認				前期の目標を検討すること(1時間)	
	2	クラス内オリエンテーション 年間目標作成					
	3	就職準備 職種研究					
	4	就職準備 企業研究				調査レポートを作成すること(1時間)	
	5	クラス内コミュニケーション①					
	6	クラス内コミュニケーション②					
	7	業界理解 ICT技術研究①					
	8	業界理解 ICT技術研究②				調査レポートを作成すること(1時間)	
	9	クラス内グループワーク①					
	10	クラス内グループワーク②					
	11	キャリアプランニング					
	12	クラス内勉強会 検定試験対策①					
	13	クラス内勉強会 検定試験対策②					
	14	クラス内勉強会 検定試験対策③					
	15	クラス内勉強会 期末試験対策					
評価方法	(1)授業内でレポートを指示する。(2)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	レポート		○				80%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。 PCを持参すること(学校PCでも可)。						

科目名	ビジネスコミュニケーションⅠ						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間		担当者	逢坂 美千代
実施年度	2023年度		実施時期	前期		担当者実務経験	
対象学科・学年	情報システム科ネットワーク専攻2年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻2年・情報工学科高度ネットワーク・セキュリティ専攻2年・情報システム科ネットワーク専攻アドバンスコース1年・情報システム専攻科ネットワークエンジニア専攻アドバンスコース1年						
授業概要	自己のふるまいを見直し、社会人として、より良いコミュニケーション力を育む						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義：△		演習：○	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
				○		きちんと声を出して挨拶ができる	
	○			○		効果的な自己PRができる	
	○			○		相手に伝わる表現や話し方ができる	
テキスト・教材 参考図書	コミュニケーション技法(ウイネット)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	序章「コミュニケーションしてみよう」【印象交換】				コミュニケーションについて、自分なりインターネットや本で調べる	
	2	「コミュニケーションの基本」【ア行で話そう】					
	3	「コミュニケーションの基本」【絵で話そう】					
	4	「コミュニケーションの基本」【あいさつとマナー】					
	5	「コミュニケーションの基本」【あいさつの達人】				コミュニケーションの基本について復習を行なう	
	6	「きれいな発声・発音を身につけよう」【話し方チェック】					
	7	「正しい日本語を身につけよう」【日本語を考える】					
	8	「正しい日本語を身につけよう」【正しい言葉遣い】					
	9	「正しい日本語を身につけよう」【敬語をマスター】				プレゼンテーション内容を事前に考える	
	10	「話すときの心構えを理解」【プレゼンテーション①】					
	11	「話すときの心構えを理解」【プレゼンテーション②】					
	12	「効果的な話し方を身につけよう」【5W2Hで話す】					
	13	「効果的な話し方を身につけよう」【AIDMAの法則】					
	14	「効果的な表現力を身につけよう」【態度と目線】					
	15	「効果的な表現力を身につけよう」【ゼスチャー】					
評価方法	(1)課題・レポートを実施する。(2)小テストを実施する。(3)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題・レポート	○			○		55%
	小テスト	○					25%
	受講状況				○		20%
履修上の注意	再試験は実施しない。						

科目名	一般教養ⅡA						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	畠添 正和	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報工学科 2年・情報システム専攻科 2年・情報システム科 2年 情報システム科アドバンスコース1年、情報システム専攻科アドバンスコース1年						
授業概要	就職筆記試験における「SPIテスト」の対策を行う。 (1)非言語(数学)分野:演習プリントを使い、各問題を「基本通りに対応し」答えを求める手順を確認する。 (2)言語(国語)分野:出題パターンの確認及び練習問題を演習する。 中間に授業内評価テスト(2回:各30分)及び期末試験を実施し、理解度を把握し、フォローアップする。 iCDタスクコード 該当なし(基礎知識全般)						
授業形式	講義: ○		演習: △	実習:	実技:	※ 主たる方法:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○				言語(数学)分野・非言語(国語)分野の問題に対して、解答を説明できること。	
テキスト・教材 参考図書	最新最強のSPIクリア問題集(成美堂出版)						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	就職筆記試験について、SPIテキストの構成・内容の確認 数学分野(演習プリント1:仕事算)					
	2	国語分野(2:二語の関係①)、数学分野(3:仕事算)					
	3	国語分野(3:二語の関係②)、 数学分野(演習プリント2:鶴亀算)・連立方程式の演習・(4:鶴亀算)					
	4	国語分野(4:語句の用法)、 数学分野(演習プリント3:損益算)					
	5	国語分野(5:語句の意味)、 数学分野(5:損益算)					
	6	授業内評価テスト①(数学3～5、演習プリント1～3) 国語分野(6:短文の穴埋め)、数学分野((演習プリント4:速さ・時間・距離)				授業内評価テストの範囲を復習しておくこと	
	7	国語分野(7:文章整序) 数学分野(演習プリント4-1:通過算)、(演習プリント4-2:流水算)					
	8	国語分野(8:空欄補充)、 数学分野(6:速さ・時間・距離)					
	9	数学分野(演習プリント その他-1:濃度算) (演習プリント その他-2:年齢算)					
	10	授業内評価テスト②(数学6、演習プリント4～4-2)、国語分野(2-8) 数学分野(19:参考問題)				授業内評価テストの範囲を復習しておくこと	
	11	国語分野(9:長文読解、10:参考問題)、 数学分野(演習プリント:場合の数(順列・組合せ))					
	12	数学分野(7:場合の数)、 数学分野 演習プリント(確率)、(8:確率)					
	13	数学分野(9:割引料金と精算) 数学分野(10:分割払いと割合)					
	14	国語分野(1:熟語の成り立ち) 数学分野(1:整数問題、2:比・平均・分配・年齢)					
	15	期末試験対策					
評価方法	(1)定期試験を実施する。(2)授業の中で授業内評価テストを実施する。(3)受講状況进行评估する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	授業内評価テスト	◎	◎				30%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意							

科目名	セキュリティ基礎											
科目名(英)												
単位数	4単位		時間数		60時間		担当者		北島 仁宇			
実施年度	2023年度		実施時期		前期		担当者実務経験					
対象学科・学年	情報システム科2年・情報システム専攻科2年・情報工学科2年・ 情報システム科アドバンスコース1年・情報システム専攻科アドバンスコース1年											
授業概要	情報セキュリティにおける各分野の基礎レベルの知識を習得する。セキュリティに関する問題点と対処方法を説明することができ、ITベンダーやシステムインテグレーターなどの担当者と専門分野の会話が問題なくできるスキルを身に付ける。											
	iCDタスクコード		EX01.37.3、EX01.37.3、EX01.38.2									
授業形態	講義： ○		演習：		実習：		実技：		※ 主たる形態：○ その他：△			
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目 標						
	○					セキュリティの専門用語について学び、意味を説明することができる。						
		○				不正アクセスの具体例とそれらを防ぐための仕組みや技術について説明することができる。						
		○				暗号技術の理論を学び、その仕組みを説明することができる。						
		○				セキュリティ上の脅威における問題点と対処法について説明することができる。						
テキスト・教材 参考図書	この一冊で全部わかる セキュリティの基本(SBクリエイティブ)											
授業計画	回数	授業項目・内容					授業外学修指示					
	1-2	セキュリティの基本(1)										
	3-4	セキュリティの基本(2)										
	5-6	セキュリティの確保に必要な基礎知識(1)										
	7-8	セキュリティの確保に必要な基礎知識(2)					1から2章までの用語の意味を確認しておく					
	9-10	攻撃を検知・解析するための仕組み(1)										
	11-12	攻撃を検知・解析するための仕組み(2)					3章までの用語の意味を確認しておく					
	13-14	セキュリティを脅かす存在と攻撃の手口(1)										
	15-16	セキュリティを脅かす存在と攻撃の手口(2)					4章の用語の意味を確認しておく					
	17-18	セキュリティを確保する技術(1)										
	19-20	セキュリティを確保する技術(2)					5章の用語の意味を確認しておく					
	21-22	ネットワークセキュリティ(1)										
	23-24	ネットワークセキュリティ(2)					6章の用語の意味を確認しておく					
	25-26	セキュリティ関連の法律・規約・取り組み(1)										
	27-28	セキュリティ関連の法律・規約・取り組み(2)					7章の用語の意味を確認しておく					
	29-30	総復習										
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)課題・レポートを実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。											
		言語情報		知的技能		運動技能		態度・意欲		その他		評価割合
	定期試験	○										50%
	課題・レポート	○		◎				○				30%
	受講状況							◎				20%
履修上の注意												

科目名	情報処理試験春対策						
科目名(英)							
単位数	2単位		時間数	30時間	担当者	川野 啓祐	
実施年度	2023年度		実施時期	前期	担当者実務経験		
対象学科・学年	情報システム科2年・情報システム専攻科2年・情報工学科2年						
授業概要	経済産業省主催 情報処理技術者試験の出題範囲に準拠し、各受験区分のレベルに応じた用語や知識の習得を行う。さらに演習問題を使用し、実践的な解答方法の演習を行う。						
	iCDタスクコード		該当なし				
授業形態	講義： ○		演習：	実習：	実技：	※ 主たる形態：○ その他：△	
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○				試験範囲内の専門用語について学び、意味を説明することができる。	
		○				試験範囲内における様々なIT技術に関する仕組みについて説明することができる。	
テキスト・教材 参考図書	各受験区分で指示があります。						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～8	IPAが提示するシラバスに掲載されている用語を理解し覚える。覚えた用語の定着のために、午前問題を中心とした演習を実施する。				分からなかった部分の復習をしておくこと。	
	7～15	理解し、覚えた用語を実践的に使用する演習を、基礎的な難易度の午後問題を中心に実施する。				分からなかった部分の復習をしておくこと。	
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。ただし、国家試験を定期試験とみなす。 (2)課題・レポートを数回実施する。(3)受講状況を評価する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験(筆記)	○	◎				55%
	課題・レポート	○	◎				25%
	受講状況				◎		20%
履修上の注意	再試験は実施しない						